

2025.12.20 将棋講座 第5回

一瞬で駒の損得計算する方法

点数法

飛10点、角8点、金6点、銀5点、桂4点、香3点、歩1点。これは谷川十七世名人が考案した点数法です。1人の人が考案したものなのでこれが絶対という事はありませんが谷川九段は名棋士です。目安として考えてください。



二枚替え

駒1枚と駒2枚を交換することを二枚替えといいます。上の計算法で駒の価値が分かるので、二枚替えすべきかどうか判断できますが、実戦では2枚持ったほうが指しやすい事もある。格言にも「二枚替えなら歩ともせよ」というのがあります。



一瞬で駒の損得計算する方法

自分と相手がどれだけ駒を得しているか、損しているかは重要ですが、局面が進んでくると分からなくなってくることもあると思います。そこで一瞬で損得計算する方法を身につけておきましょう。

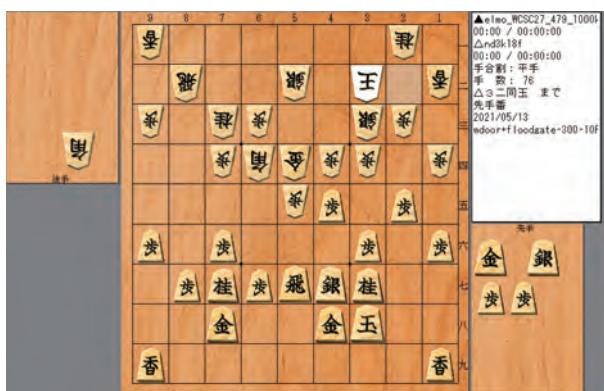
やり方は自陣と相手陣の初期配置から崩れていないほうを見ます。そして初期配置から増えている駒、減っている駒を見つけます。持ち駒も入れて考えます。

例えば自陣のほうが崩れていない、初期配置に近い形だったとします。そして銀と香が初期から増えている駒、角が減っている駒だとします。これは銀香と角の二枚替えといいます。

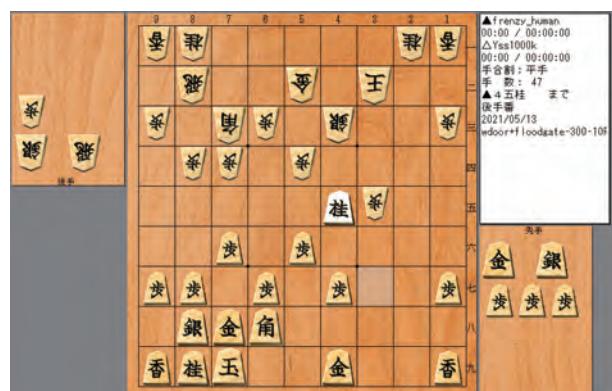
考えてみれば当たり前ですが、実戦ではこれをどれだけ素早くやれるかで勝敗が分かれます。つまり秒読み 30 秒だとして 20 秒間、駒の損得がどうか考えているようではダメなのです。

練習問題で慣れてていきましょう。

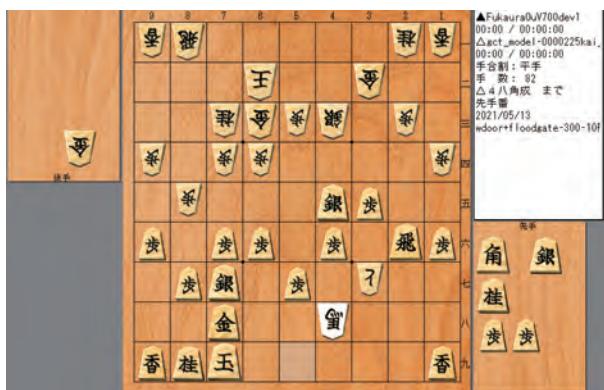
1 問



2 問



3 問



4 問

